

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

【57,548百万円】

このほか国産チーズ振興枠【9,001百万円】

対策のポイント

平場・中山間地域等における畜産クラスターの仕組みを活用した取組を進めることにより、我が国の畜産・酪農の収益力強化を進めます。

<背景／課題>

- ・「総合的なTPP等関連政策大綱」に即し、畜産・酪農の体質強化を図るためには、省力化機械の導入等による生産コストの削減や品質向上など、収益力・生産基盤を強化することが重要となっています。
- ・このため、畜産クラスターの仕組みを活用して、平場・中山間地域など、地域の畜産関係者が有機的に連携・結集し、地域ぐるみで収益性を向上させる取組を加速化することが重要です。

政策目標

- 畜舎の整備や省力化機械の導入による飼養規模の拡大や飼養管理の改善、作業の外部化等による生産コストの10%以上の削減、販売額の10%以上の増加、所得の10%以上の向上 等

<主な内容>

畜産・酪農の収益力の強化を集中的に進めるため、1～3の事業を支援します。

特に、重点的に進めるべき課題に対応するため、

- ①「総合的なTPP等関連政策大綱」に位置づけられた、
 - ア 「肉用牛・酪農の生産基盤の強化」に向けて、キャトルステーションの整備など、効果的な肉用繁殖雌牛・乳用雌牛の増頭・増産の取組を行う協議会に対し、1～3の事業を一体的に支援する「肉用牛・酪農重点化枠」
 - イ 「国産チーズ原料乳の低コスト・高品質化の取組の強化」に向けて、チーズ製造を行う乳業メーカーやチーズ工房が参画する協議会及びチーズ原料乳を供給する酪農経営に対して、原料乳のコスト低減や高品質化に向けた取組を支援する「国産チーズ振興枠」
- ②中山間地域の特徴を踏まえた畜産・酪農の取組を支援する「中山間地域優先枠」
- ③我が国の高品質な畜産物の輸出拡大につながる取組を支援する「輸出拡大優先枠」を設定します。

1. 施設整備事業

畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体に対し、収益力強化や畜産環境問題への対応に必要な施設整備や施設整備と一体的な家畜導入を所要の見直し※を行った上で支援します。

(※ 規模拡大要件に加え生産効率向上要件を設定、基準単価の見直し、家畜導入月齢の緩和(48→72ヶ月齢) 等)

2. 機械導入事業

畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体に対し、施設整備との一体性も確保しつつ、収益力の強化等に必要な機械の導入を支援します。

3. 調査・実証・推進事業

収益力の強化に向けた新たな取組を行う畜産クラスター協議会に対し、その効果を実証するために必要な調査・分析を支援します。

また、畜産クラスター事業の効果を一層高めるため、地域の連携をコーディネーターする人材の育成を支援します。

補助率：基金管理団体へは定額
支援対象者へは、1、2の事業は1／2以内、3の事業は定額
基金管理団体：民間団体
支援対象者：中心的な経営体（畜産農家等）

[お問い合わせ先：生産局畜産企画課 (03-3501-1083)]

H29補正 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）

畜産・酪農の中長期的な成長のための生産基盤の構築

- 畜産農家をはじめとする地域の関係者が連携し、作業の外部化や省力化、規模拡大等により、体質強化を進めるため、地域で策定する畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体等が行う施設整備や機械導入などの競争力強化に向けた生産基盤の構築や生産性向上等に向けた取組の実証調査等を支援。
- 特に重点的に進めるべき課題（肉用牛・酪農の生産基盤の強化、国産チーズの競争力強化）に対応するため、支援枠を設定。

肉用牛・酪農の生産基盤の強化



《肉用牛・酪農重点化枠》（８０億円）

- 地域的な規模拡大や分業体制の構築等、**重点的に推進すべき取組に対して、実証調査、施設整備、機械導入等を一体的に支援**
- 併せて、効果の早期発現、普及を図るため、重点化枠に限った支援（研修施設の整備等）を実施

《中山間地域優先枠》（４０億円）

- 中山間地域での収益力強化に向けた取組に必要な施設整備について、優先的に採択・配分

（拡充：上限事業費を６千万円→２億円に引き上げ）

New!

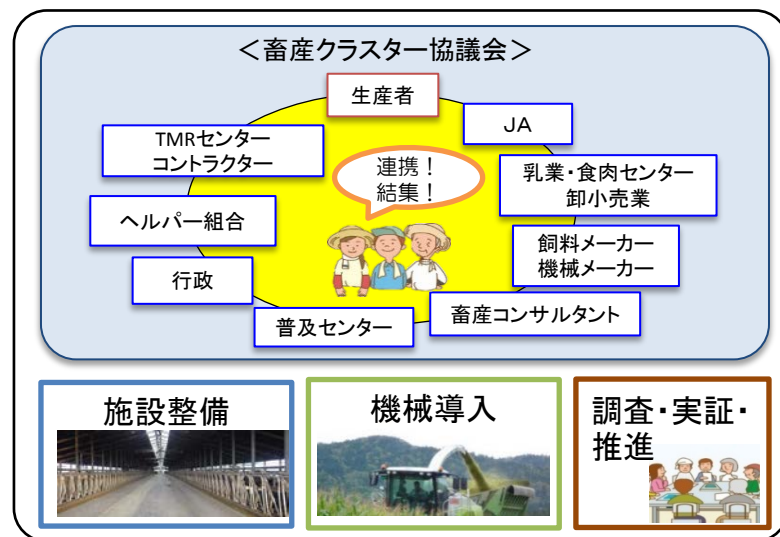
《輸出拡大優先枠》（１０億円）

- 協議会の構成員に輸出拡大に取り組む事業者が含まれ、**輸出拡大に係る具体的な計画を有している取組に必要な施設整備について、優先的に採択・配分**

その他の主な拡充内容

- ・規模拡大要件に加えて生産効率向上要件を設定
- ・施設整備事業の基準単価の見直し
- ・施設と一体的に導入する家畜の導入月齢を引上げ（４８→７２ヶ月齢）

New!



国産チーズの競争力強化 New!

《国産チーズ振興枠》（９０億円）

- (1) チーズ製造を行う乳業メーカーやチーズ工房が参画して、**原料乳のコスト低減や高品質化に取り組む場合、実証調査、施設整備、機械導入、チーズ向け乳用種の導入等を一体的に支援**（７０億円）
- (2) チーズ工房に原料乳の供給を行う酪農経営が**コスト低減や高品質化のために行う機械導入のための支援枠**を設定（２０億円）